



愛知県板金工業組合  
発行所 名古屋市昭和区北山町  
3-8-6 電話 052-732-1226  
愛知県板金工業組合  
発行所 名古屋市昭和区北山町  
3-8-6 電話 052-732-1226

# 愛知県板金工業組合 理事会開催

愛知県板金工業組合は、平成11年度最後の理事会を4月26日、愛板会館3階会議室において午後3時より行った。

当日は、正副理事長、常務理事、各委員会の代表と、理事(支部長)の各氏で会議室は満席となった。議題は、

- ① 平成11年度事業及び、決算報告  
平成12年度事業計画案  
予算(案)
  - ② 総代会について
  - ③ 組合創立35周年、記念式典について
  - ④ その他
- に基づいて、吉田専務理事が資料の説明をしながら進行された。

変更すること無く来月の総代会に使用される見通しだ。

①の、項目において平成11年度の決算書と、平成12年度の予算案の収入合計は73万程減少されているが、支出合計は予備費60万円ほどで11万円の増加となっている。

昭和60年度の決算書の収入の部は合計約3000万で平成11年度のそれは約3845万であり845万の増大が見られる。しかし、組合費(賦課金)は220万に止まっている、この差額は、主に組合の事業収入で賄われている。

健康保険及び労働保険等の事務手数料など事業収入に組合が努力してきた結果と思われる。今後、組合費の値上げを押さえるためにも、組合事業に、組合員の協力が期待される。

②の総代会については、5月

15日名古屋国際ホテルにおいて、受け付け12時、開会午後1時から2時30分終了予定とし、来賓者の役職と、氏名が決定された。

総代会、式典、祝賀会の組合員による役割分担も内定した。

③の、組合創立35周年記念式典については、午後3時から午後4時30分まで同会場で行い、組合員功労者と優良従業員に、愛知県知事、中小企業団体中央会、愛知県板金工業組合理事長の各表彰状を贈ることを承認した。

祝賀会、懇親会  
午後4時30分から6時まで同ホテル2F若竹、紅梅の間で行い、参加者は会費、5000円とした。

来賓者は総代会と合わせてお願いすることになった。

④のその他については、全国建築板金業者神奈川大会には愛知県板からは約170名の参加者があり、バス5台分のコースと、日程表の説明があった。集合場所の事で質疑応答の結果、少し変更するもよう。

★12年度注目したい事業  
責任施工・保証工事の強力な推進

★12年度新規の事業

リホーム・ソーラー施工技術の習得。

環境を考慮した残材のリサイクルに関する調査研究など、話し合いもあった。

この後、保証、広報、技術更生、経営対策等、の各委員会の代表による経過報告や、要請等の発表があり、広範囲な組合行事を、各理事の方々は、理解された事と思われる。

## 広報委員会より、

この記事が皆さんの所に届くころには総代会など過ぎた事とおわれますが、年に何回か行われる理事会に各支部の代表の理事さんが会議に出席し、いかなる内容の議題を話し合っているのか全組合員の理解を得るために来月号の総代会の記事と重複する所もあるが載せたこととした。

佐藤

# 第二十一回青年部通常総会

平成十二年四月十六日、安城市地域産業文化公園「デンパーク」にて、十一年度青年部通常総会が開催されました。

ご来賓に高柳副理事長、吉田専務理事、青年部担当高橋様、安城支部長西出様を迎え、午後2時より刈谷支部望月君の司会で開会の辞、岩崎部長挨拶、来賓挨拶と進み議長に知多支部山内君が選ばれ議案審議が開始されました。第1号第2号議案と承認され、第3号議案の新任部長紹介に中川港支部の本田君が次期部長として承認され、第4号第5号第6号議案の審議も終了した。

安城 岩崎



▶ 理事会風景



▶ あいさつする  
岩崎青年部長



▶ 総会風景

# 平成12年名古屋板金連合会総会

平成十二年四月八日土曜日、桜で満開となった名城公園、公園前にある名城会館で名古屋板金連合会の平成十二年度の総会を開催した。

来賓に近藤藤次郎議員、松山登喜院議員、梶原村上市長、西三板金連合会毛利会長、吉川商会吉川部長、吉田専務理事が列席された。

事業報告は鈴木副会長が行い、昨年度の職人展では材料費を上回る売上があり好評であった。工場見学は梶原沼澤常務理事のお骨折りで新日本製鉄

平成十二年四月二日(日)第六十一回通常総会が豊橋市高千穂会館にて開催され、居平副組合長の開会の辞、山下副組合長の司会進行によりスタート。黙祷、組合長挨拶、優良従業員表彰、議長選出では大竹・元副組合長が選出され議

## 東三支部 通常総会

案審議されたが、ほぼどこのりなく終了した。

組合長挨拶で「春うららかにうららかに桜高千穂今このごろに」と今日のため詠われ、通常総会が行われることに感謝します。一年前に我々役員一同は心にこう誓い合いました。

名古屋製鉄所を四十八名で見学した。十一月には二年間休止していたボーリング大会を支部対抗で開催するなど計画していた事業を行ったと報告。決算報告は佐藤兼計が行い、長谷川監査役が監査報告を行い承認された。

新年度事業は例年通りであるが今年の工場見学は日曜日に開催してほしいとの要望に応えて、産業技術記念館とトヨタ博物館を九月三日の日曜日に開催することになった。

また各支部の青年部が会員の減少などで解散しているので連合会で一本化できるような調査、努力して行くなどの事業計画が承認された。

議事終了後村上理事長が挨拶にたち「自分の城は自分で守れ」と力強いお言葉を頂いた。

総会終了後、縁の宴、名城会館特別料理に盛大な宴となった。 西支部 鈴木

## 豊田支部

### 平成十二年度第四十四回総会



平成12年4月1日(土)平成十二年度豊田板金工業組合の定時総会が豊田市小坂本町の『豊田産業文化センター』4階視聴覚室に於いて開催されました。組合員総数55名中総会出席33名、委任状出席13

初年度は大人の勉強期間、一生懸命勉強しそれを糧、肥やしにして業界のため組合のため開花繚乱とまで行かないまでも将来の礎となるようがんばりたい。幸いにも東三は人材の宝庫、皆様の力を合わせれば必ずや明るい展望が開けるでしょうと今年にかける抱負を力強く語られました。

村上理事長は真っ先に今年度の愛板新年会が東三担当で盛大に行われましたこと慰勞の言葉をいただき、村岡衆議院議員に単価安の陳情、新規事業の太陽光発電システム、基幹技能士の育成等に力を注ぎたい。また愛板三十五周年式典に大勢の出席を促されご挨拶とされた。

通常総会が無事に終了した後は会場を移し懇親会が催され豊会(問屋五社)代表幹事マルサン金属建材(株)代表取締役鈴木廣社長は将来を展



総会風景

望するにあたり厳しいが理事長が言われるように新規事業にもいち早く眼を向け共同体と一緒に進みましょうと挨拶。

額田氏の乾杯で宴会に入り和やかなうちに終了した。

二期目となる二村組合長には難しいカジりの年になるだろうが各組合員の協力の元二村丸の波静かなる航海を期待したい。

東三 吉田



豊田 松井

名でした。三浦誠治氏の司会により開会した総会は、西俣組合長の挨拶の後、来賓挨拶を梶原村上理事長、吉田専務理事、毛利貞夫、西三板金連合会会長、高柳一男、岡崎板金組合組合長、横山久久、横山興業(株)社長、長谷川賢市、豊田高等職業訓練校校長に御出席いただきました。続いて奥田頌氏を議長に選出して議事に入り平成十一年度事業報告、会計報告、会計監査報告の後平成十二年度事業計画案及び予算案が可決承認されました。十二年度事業計画の中で今までにない事業として集団健康診断を上げているほか、西三板金連合会総会担当支部として11月7日(火曜)に豊田市内『猿投温泉』を予定している旨発表がありました。議案審議終了後、各報告事項の発表となり青年部報告、技能士会報告、豊田高等職業訓練校講師報告がありました。本年度班長さんの発表後総会は閉会しました。

## 手習い その一

私は前に、水墨画をやっていました。きっかけは取引先の大工さんで、おまえも水墨画をやってみないかと言われ始めました。始めは一人でやっていたのですが、妻もやりたいと言ったので、夫婦で始めました。

先生は水野桜山、本名水野豊と言われ、気さくな人柄のよい、だれにでも好かれる先生でした。教室に通っていても楽しく手習いを続ける事が出来ました。

先生は日本南画院の理事も務められていました。

市の文化祭、教室の発表会、日本南画院展に出したり、年に十回ほど出品をしていました。

教室での基礎は四君子を習う、始めに蘭・竹・梅・菊と順番でその後、山水画の描き方になります。基本はスケッチブックに鉛筆・木炭・矢立などで書きます。

では水墨画とは、文房四宝は紙・墨・筆・硯石とおおまかに4種類、その他に筆洗・文鎮・印・印肉・布巾など、その後に篆刻などをおぼえてまいります。

岩室鐘

# 太陽光発電システム講習会開催

西支部では昨年から計画を進めていた太陽光発電システムの講習会を三月二十四日名古屋山田地域センターで開催した。

西支部では毎月二四会（ニヨン会）を開いている。三月の二四会では、県板と名古屋板金連合会の連絡事項と勉強会を開いた。

勉強会は太陽光発電システムの仕組みと施工法の勉強で建材メーカーの「クボタ」と建材問屋の初穂商事さんの協力で行った。

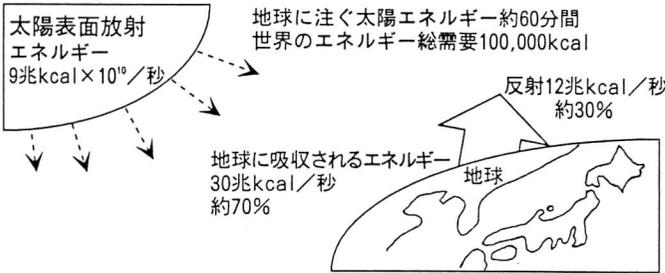
モジュール（太陽集光板）はクボタカラーベストコニアルと同じ大きさのモジュールなので手に取ってみることが出来た。取付作業もモジュール自体が屋根材であるのでルーフィングの上に直接ビス止め施工でき他の太陽光発電よりコストも施工性もとてもよい製品であると思った。

モジュールには、アモルファス系と結晶シリコン系がありクボタはアモルファス使用しているアモルファス系と結晶シリコン系を比較してみた。

シリコン使用量	アモルファス系	結晶系
製造エネルギー	厚さ0.3ミクロン (1)	厚さ200ミクロン (666)
工場規模	小 (1)	大 (3)
エネルギー変換効率	8%前後 (3Kwh=44㎡)	12%前後 (3Kwh=26㎡)
温度による発電効率	発電効率の低下は少ない	発電効率の低下が著しい
年間発電量 (3kW)	概ね3600Kwh	概ね3300Kwh

製作面からも省資源・省エネルギー、省設備と環境に優しいといえる。太陽光発電で作られた電気は家庭内で電化製品に使用されるが、電力会社と契約することによりあまった電気は電力会社に売電する事が出来る。

住宅用太陽光発電導入基



## 盤整備事業

通産省では太陽光発電システムの市場への導入促進を目的として、(財)新エネルギー財団に委託して平成六年より個人住宅に補助金制度を実施している。

平成十一年度補助金(三十三万円/kW) 予算は一六〇億円プラス前年度繰り越し四〇億円を加えて二〇〇億円(二万件の応募に対応)である。補助を受けるには新エネルギー財団(NEF)に問い合わせるとよい。

西支部 鈴木

## 西尾支部 研修旅行

西尾支部は4月16日(土)17日(日)、鳥羽と伊勢神宮の内宮の参拝の研修旅行に出かけた。組合員27名、従業員4名、田中屋と富士商店の間屋さん2名の33名の参加であった。西尾文化会館南駐車場に8時50分集合、9時に鳥羽に向かって出発した。村松相談役が出発の挨拶で「西尾支部は組合員のまとまりがあり、指導者の人材も豊富である。今は有珠山の噴火や不況など暗い時

世だが21世紀に向けて、夢を持って西尾はいっそうの団結をして行こう。」と述べられた。西尾支部にとって、この研修旅行は組合員の親睦と団結の機会を持つと言うのが主たる目的で、役員さん達が重要視している行事である。毎年、旅行は三河トラベルさんをお願いしている。添乗員の中桐さんには長年お世話になり、彼は遊びの穴場や事情をよく知る、ベテランの頼りに

なる添乗員である。1日目は松坂で焼き肉バイキングを取り、鳥羽海の博物館に立ち寄り午後4時に泊まりの鳥羽シーサイドホテルに着いた。翌日は二見ヶ浦の夫婦岩を見学し、真珠店に寄った。そして伊勢神宮の内宮を参拝し、おかげ横丁を散策し、磯部で昼食をして帰路についた。バスの中でビンゴゲームをして楽しんだ。差し入れが多くて余ったので、我々はそれらを分けて貰って、午後6時少し前にそれぞれの家路についた。

西尾 大橋

## 西三板金技能士会研修旅行

西三板金技能士会では、十二年度技能検定講習を目前にした四月二十三・二十四日に役員研修と親睦を兼ねて、北海道への旅行を実施しました。内山会長を始め十名の参加で、有意義な二日間を過ごしました。

大変だったろうと思いましたが、又、札幌市内の洞内板金の社長さんをお願いしてホテル、夕食のお店を紹介していただき、すてきな札幌の夜を過ごしました。

二日目は、小樽方面でニシン御殿のトタン平葺き屋根を見学し、運河を見て、おみやげ屋へ。それぞれみやげを手に空路名古屋へ。一泊二日

北海道では、ほとんどの住宅や大きな建物でも横葺き屋根が多く、雪や氷点下二十度に耐えられる鋼板屋根が主流になってきている様です。 サッポロビール園では、葺き屋根で、園内のほとんどが施工されていて、すごい一言で、勾配も急なため仕事も



▲ 参 加 者

五月三十日より開始される技能検定講習会での再会を約束し解散した。岡崎 中村

# 時代の流れ「太陽光発電」に 取り組む愛知県板

名古屋自由が丘で最近工事が終わった市営住宅六階建八棟の屋上すべてに太陽光発電が設置されている。公共事業に率先して導入されているのが良く分かる。

以前から道路標識や時計塔には使用されていたことは街の中を走って目にしてきたことだが、このように団地の屋根すべてに架設されるのは目新しいことだと思ふ。

太陽光発電が最初に見たのは十年くらい前に中部電力の中高技術開発本部とそのすぐ前にある「青年の家」の屋根に設置されたのが最初である。当時はまだ道路標識にも使われていなくて非常に珍しいシステムのように思った。

今では一般住宅にも導入されるようになっては来ているが、非常に高価でざっと㎡六万五千円位かかる。屋根の南面約四十㎡に設置すると二百六十万円くらいかかる。

しかし最近では需要が少しずつ増えてきたことから大量生産によるコストダウンが進み、まだまだ安くなってくると思われる。

今や光発電は色々な分野に使用され計算機はもとより、腕時計、道路上の標識、電線を敷設する事が困難な場所

は太陽光発電が最も適している。一時期、団地の屋根に太陽温水器が多く見られたがこれからは太陽発電機機に変わってくるであろう。

地球環境が空気中の炭酸ガスの増加や、フロンガスが多くなりオゾン層を破壊したりして地球温暖化が進んでいる。地球温暖化にブレーキをかける意味からも国が太陽光発電に設置価格の約四分の一の補助金を出して普及を進めている。

新築住宅に設置するのと既設住宅に設置するのでは架設条件が違い、私たち板金業者が施工するには新築住宅が望ましい。

メーカーによっては屋根材と同じ施工方法で集光板を屋根材として葺いていく事が出来るので私たち板金屋が施工には一番適している。屋根の上には設置するのが最も適している事から、既設屋根のリフォームの時に薦めることもできる。

施工には電気に関した事も扱わなくてはならないのと専門的なことも必要になることから、講習を受けて勉強しなければならぬ。

三月二十四日に西支部が講習会を開き五月二十四日には西三板金連合会が講習会を開

催する。

愛知県板金工業組合の新年度事業にもソーラーシステム

## 4月各支部の動き

名古屋板金連合会

8日 総会 名城会館55名

昭和支部

10日 常会 新会員紹介

熱田南支部

15日 定例会

瑞穂支部

1日 定例会

一宮支部

17日 役員会

春日井支部

7日 定例会

江南支部

15日 月例会・地区役員新

西春支部

9・10日 総会旅行(花博と淡路島めぐり)

小牧支部

8日 支部会

津島支部

5日 定例会

西三板金連合会

4日 役員会

岡崎支部

げて行く計画である。需要が多くなってからでは遅いので今から取り組んでいく方針で期待が寄せられる。 驚見

4日 青年部会合・潮干狩りの件について

碧南支部

12日 青年部定例会

豊田支部

1日 総会

18日 第1回役員班長会

刈谷支部

3日 定例会・各種講習会の案内

西尾支部

6日 役員会

16・17日 研修旅行

知立支部

15日 定例会

東三支部

2日 第61回通常総会63名

2日 青年部幹事会

7日 定例会

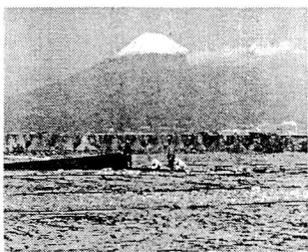
14日 新旧役員引継会17名

22日 NEW板カラ会14名

24日 三役会

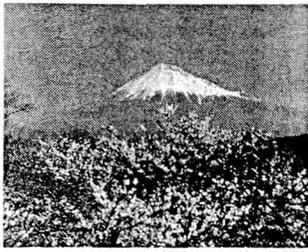
## 編集後記

四月のはじめ頃、駿河湾・由比港に揚った今年初漁ビチビチの「桜えび」が届いた。「生でそのまま召し上がるのかき揚げ天ぷらでお召し上がりください」と添え書きがしてある。贈り主は静岡清水市にオープンした「寿司ミュー



▲ 富士川河口桜えび干し

ジウム」の中にある寿司処「駿河」の井上料理長であった。この人とは今年一月、四十数年来の八人組の親友夫妻で「寿司食べ放題といちご狩り」日帰りツアーに出掛けた折り立ち寄った寿司処・駿河で出会った。血色のいいでっぷりした体格に、締めた鉢巻さきと清楚な寿司職人の身繕い、そして手際よく握る仕事ぶりについてカメラを向けた。軽く頭をさげながらニコニコ微笑んだ笑顔が実によかった。料理長の握る寿司を食べながら初対面とは思えぬほど話しが弾み写真を送る約束をして帰った。その後、わずか五・六枚の写真を送っただけなのに高価な「桜えび」をぶくとは夢にも思っていなかったがこの人の義理堅い性格を知ることになり、お陰で桜えび料理を堪能させて貰った。また先日も桜えびのお札に料理長の仕事姿と白梅に富士山を入れた写真を大きく延ばし持参した所、嬉しい嬉しいを連発して大変喜んでくれた。帰り



▲ 富士市若本山公園梅園

には解体したてのマグロの切り身を持たせてくれ返って恐縮してしまふ始末である。私は人の出会いふれ会いを大切にしている。あちこち写真を撮り出掛ける事が多いから土地の人とのふれ会いの機会も多くなるし楽しみでもある。何気なく撮った写真を送ってあげると「貴男の好意が嬉しい」との礼状や名産が届くのもしばしば。安城のおばさんグループから名産の梨が送られて来り、松川のリング園のばあちゃんからリングが届いたり、海外旅行で出会った人からちくわやはんぺんを頂いたりだが、これも写真が取り持つ縁である。いつも何かを期待して送る訳ではないが人の好意を好意として受けとって貰える人が多いことが嬉しい。何時までも出会いふれ会いの縁を大切に続けたいと願っている。

四月二十七日(木) 晴  
三九四号 編集会議  
委員 八名 出席  
午後五時終了 (S)